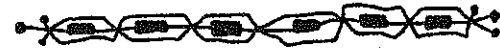




2019 (平成31)年3月
 新座市精神障害者家族会・やすらぎの会
 〒352-0023 新座市堀ノ内3-4-11
 社会福祉法人にいざ内
 電話 048-482-5155

No.222



3月例会では 3月10日(日) 野火止一丁目集会所 出席会員19名

3月を迎え、来年度に向けての準備を考えなければなりません。そこでやすらぎの会の役員についても話し合いました。現在の役員はもう何年もそのままです。ぜひ新しい方にも加わっていただきたいということで、話し合いの結果新たにお二人の方に役員に入ってもらうことになりました。それぞれ家庭の事情なども考慮しながら、ぜひ新しい空気を役員会に吹き込んで欲しいと思います。

来年度の家族会でどんなことをしたいかなど、皆さんのご意見を聴く時間が取れませんでした。4月の例会で意見をお聞かせください。例会の内容や、そのほかの行事などこうしたらどうかなど遠慮なく出しあいましょう。このお便りについても、感想・ご意見をお聞かせください。例えば、福祉フェスティバルなどに参加するときも、ただ赤飯の販売をするだけでなく、そこで家族会の存在をアピールするチラシやカードのようなものを一緒に添えるなど、工夫をしてみたらどうかというようなアイデアも出されました。ぜひ実行したいですね。

例会ではその後、「みんなねっと」2月号特集「精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について」をテキストに、学習をしました。

○教科書で正しい情報を伝えてこなかった結果、精神疾患にかかっても病気であると気づくのが難しく、初期対応が遅れ、重症化することが多かった。

○学校で早期に精神保健教育が行われれば、①人生早期に全体の人に働きかけられる ②自分だけでなく友人が困った時にも支え手として適切な助言ができる③早期の教育の効果は大人になってからより高い ④未治療期間を短くすることで、経済的にも心身の負担も軽減でき、より良い予後を通せる、などが期待されます。

3年後の2022年から高校教科書に精神疾患の記述が復活するという事です。どのように活用されるのか、期待して見守りたいと思います。

3/2の講演と映画の集い(夜明け前)・・・アンケート・感想の一部を紹介します

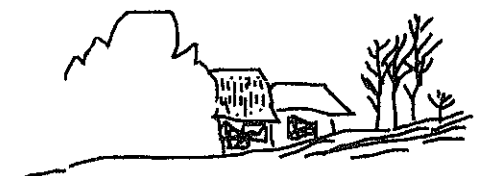
(1) 精神科医療と精神保健福祉について困っていることは?

- 退院してもすぐに日常生活に戻れないので退院後の生活訓練施設を充実して欲しい。
- 子供がひとりぼっちにならないように望みます。○本人が病気を理解して受け入れていないことが困る。○投薬治療が主になっているのがちょっと不満です。
- 当事者の医療費助成が他の病気に適用されないことが困る。
- 長期入院から早期退院に医療制度が変わり、強制入院だった息子に対する家族の対応がスムーズに行かず今もその影響を残しています。
- 薬物治療の危険性(依存・副作用)
- 守秘義務違反とは何か→カウンセリングなどでどこからが違反なのか?個人が特定されなければどこで話してもよいのか?
- 今でも見えない壁や見えない柵があることを感じます。きっと私も家族でもなければ無意識に持っている事さえ気づかない偏見と差別です。家族としてできることをまわりの人々にも発信したい。
- 長女が重度で今何回目か(7~8)の入院中ですが、30年位たってもまだ幻聴妄想がひどく、すっかりとらわれていて、この病気の不可解さが悲しくなります。

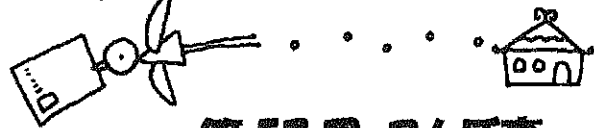


(2) あなたの精神保健福祉の希望はなんですか?

- この病気の解明が進み、苦しんでいる人達が光を見出されるように希望します。
- 「セカンドオピニオン」を保険費用でいつでも受ける事の出来るところがぜひ欲しいと思う。
- 日本は精神疾患について一般社会の知識がなく遅れているので、教育の充実を望みます。
- やはり社会全体、国、地方自治体公的機関等が24時間連絡対応が出来る様になって欲しい。
- アウトリーチ ○家族会の発展を願います。○親亡き後が心配です。
- 精神障害者が気楽に集える(社会的に認められている)居場所が日本全体にもっと出来て広がって欲しいと思います。
- 一般の方たちにも脳の病であることの認識を広め、一人の人間として、偏見を持たずに対応できる国民性になって欲しいと思います。○新薬が開発されて欲しいです。
- 横山先生の話「支援者をもっと信頼し、頼ってほしい」「親ががんばれば頑張るほど、支援者の力が育たないのでは・・・」とのお話は考えさせられました。
- 退院後作業所で働いても時給200円では本人も働く意欲を失くしています。最低賃金が保障されることを希望します。



お知らせ



第57回 ごんぼ亭 ごんぼ亭亭主 伊藤順一郎

もしも「死にたい」と言われたら

演者 松本俊彦 先生(国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部部長)

日時: 3月16日 13:00~15:30 (開場 12:30)

会場: 小松川さくらホール (江戸川区小松川3-6-3)

参加費: 当日 3500円 (事前申し込みは締め切りました)

※お問い合わせは: 047-320-3870 NPO法人コンポ まで



埼玉県障害者協議会公開地区研修会

東京オリパラを契機にバリアフリーを地区生活圏まで広げよう!

『障害者権利条約と改正バリアフリー法を比べると…』

講師: 川内美彦氏(東洋大学)

日時: 3月21日(木・祝) 13:30~16:00

会場: ウエスタ川越 2階 会議室1

後援会・家族会定期総会の日程

日時: 平成31年4月27日(土) 10時より

会場: 新座市民会館 2階 第1・2会議室

10:00~11:00 社会福祉法人にいが後援会定期総会

11:15~12:15 やすらぎの会定期総会

休憩 (昼食は用意します)

13:15~15:00 講演会 横山恵子氏(埼玉県立大学 教授)

※講演会のテーマについては、現在調整中です。

※正式なご案内は近日中にお送りします。ぜひご出席をお願いします。

【今後の予定】

3/21 (木) 講演「東京オリパラとバリアフリー」 13:30~16:00 (ウエスタ川越 2階会議室1)

3/23 (土) Bブロック会議 13:30~16:00 (ウエスタ川越 3階研修室)

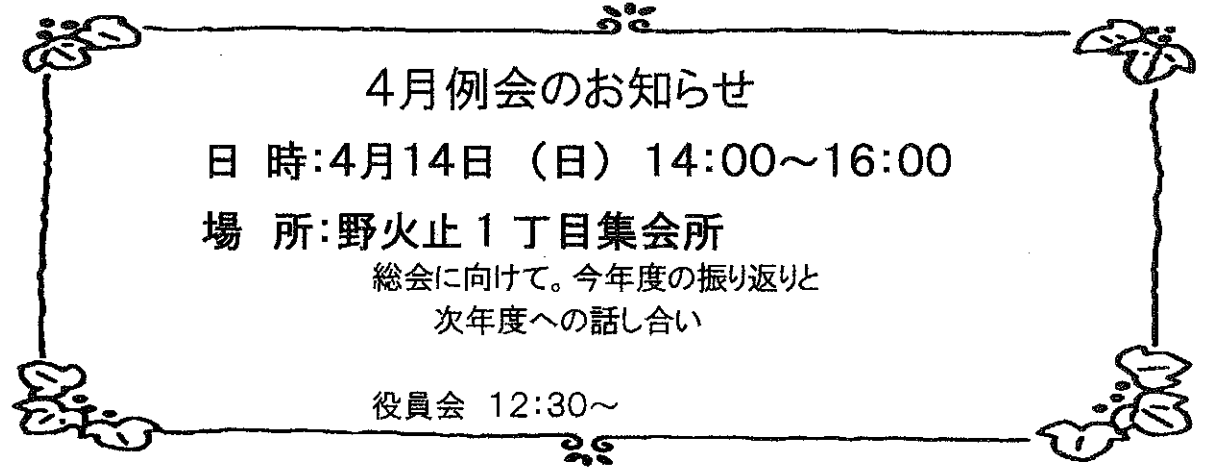
3/25 (月) 法人にいが評議員会 13:30~16:00 (堀ノ内集会所)

4/05 (金) 家族相談 13:00~16:00 (支援センター相談室)

4/09 (火) 臨時役員会 13:00~16:00 (支援センター相談室)

4/14 (日) 4月例会(役員会12:30~) 14:00~16:00 (野火止1丁目集会所)

4/27 (土) 法人にいが後援会・やすらぎの会定期総会と講演会
10:00~15:00 (市民会館会議室 1・2)



4月例会のお知らせ

日時: 4月14日 (日) 14:00~16:00

場所: 野火止1丁目集会所

総会に向けて。今年度の振り返りと
次年度への話し合い

役員会 12:30~



家族相談日

毎月第1金曜日 13:00~16:00

ご相談は15:30までにおいで下さい

4月5日(金)です 場所: にいが生活支援センター相談室

予約される場合は鶴飼(080-1053-7816)まで

例会に出席できない方、ゆっくりお話ししたい方もお出かけ下さい。

当番の家族相談員がお待ちしています4月の当番(鶴飼・矢野)



※ 埼家連の「心をつなぐ家族電話相談」もご利用ください

☎ 080-6685-2128(携帯)

相談日 毎週 月~木(金、土、日、祝日は休み)

10:00~12:00 13:00~15:00

